出 張 報 告

報告日

柏盛クラブ
三宮直人 重野正毅
☑調査研究(□行政視察) □研修会 □要請・陳情 □各種会議
札幌市民防災センター視察
令和4年7月29日(金) 10:00 ~ 11:30
札幌市民防災センター(北海道札幌市白石区南郷通6丁目北)
各種災害の模擬体験設備を備えた防災施設
○平成15年に開設された体験型防災学習施設で、「自分や家族と災害体験」「こどもの防災教育」「地域や企業での訓練」など一人ひとりに合わせた体験を提供。令和4年9月から令和5年3月頃まで全面休館期間とし、リニューアルが予定されている。 ・災害バーチャル体験コーナー津波や土砂災害、都市型水害についてメカニズムや危険性を知り、災害発生の瞬間を風や座席振動の演出とともにCGを使った迫力のある立体映像で体感できるコーナー。22分間の3D映像を視聴し体感した。 ・地震体験コーナー・東日本大震災などの過去に発生した地震の再現による8種類の揺れを体感できるコーナー。関東大震災、阪神淡路大震災、中越地震モデルの札幌を震源として想定した揺れを実際に3グループに分かれてそれぞれ体感した。 ・消火体験コーナー・訓練用の消火器を使って初期消火の方法を体験し学ぶコーナー。住宅用消火器や家庭用簡易消火具などを展示。スクリーンに映し出される天ぷら油火災を2名ずつで水消火器を使って炎の下部を狙って消火体験をした。 ・煙避難体験コーナーケ煙を充満させた建物内からの避難行動を体験するコーナー。実際の火災と同様、停電を想定した暗闇の中で非常口を探しながら3名ずつで避難体験をした。 ・暴風体験コーナー 風速10m/s、20m/s、30m/sの強い風を3D映像を通してよりリアルに体感するコーナー。暴風による災害の危険性を知り、事前対策など身を守る方法を学ぶ。4名ずつ風速10m/sの風を体感した。

○インストラクターからのまとめでは、緊急時にパニックとならないよう 日頃からの「心の備え」が最も重要であるとのアドバイスを受けた。

概 要【三宮 直人】

元消防署職員の担当者から案内いただき実際の災害場面の経験から具体的な知恵をいただいた。

暴風体験では、「平均風速10mでの体験だが、実際には風速は瞬間で上下するので注意する」。煙避難体験では、「階段の段差に空気が残っている場合がある。避難の際に呼吸を確保」する。消火体験では、「火の上部ではなく燃えている深部を狙う」。地震体験では、「頭を守る」。過去の大地震を選択できたが関東大震災は揺れの時間が長く恐怖感が一番強いと感じた。

これまで札幌市自体は大きな自然災害を経験していないようだが、胆振 東部地震を受け更なる防災意識の向上にギヤチェンジしているように思 う。

柏崎市においても防災について進めているが、「いざという時の命を守る知恵」を身に着ける取組みが必要である。

【重野 正毅】

柏崎市内で、「地震」「消火」「煙」「暴風」の体験が1か所でできるところはない。また、3Dによる水害体験シアターもある。実際に中越沖地震を体験している柏崎市にこのような防災センターを整備することが必要だ、ということは簡単だが、そこまでは現実問題として難しい。今ある組織を使い、子どもたちから防災意識を高めることと、町内会や近所同士の「互助」を高めるような啓発活動を一層充実させていきたい。防災士としての活動を行っていると、ここ5年くらいの間で、柏崎市民の防災意識の向上を、肌感覚だが、感じることが多くある。さらに進めていきたい。今回体験した「地震」の揺れは、新潟工科大学でも体験可能なので、市と大学の連携として市民に広報してもいいように思う。

